



男と女のいきいきコラム

男女共同参画社会の実現を目指して

VOL.72



「いつまでも住み続けたいと思つまち」を目指して

本紙6月1日号で、市の第五次総合計画の基本計画見直しに伴う「市民意識調査結果」について、市を紹介する写真とともに、「いつまでも住み続けたいと思つまち」を目指して、の言葉が掲載されました。

土岐市は、緑豊かな自然に恵まれたまちです。市民意識調査では、「暮らしやすさ」や「これから住み続けたいですか」、「どんなまちに住みたいですか」などをお尋ねしました。また「私たちのまちへの思い」として、皆さんから貴重なご意見もいただきました。

総合計画には、基本目標として、

1. 参画～自立と協働のまち
2. 活力～元気を生み出すまち
3. 育成～豊かな心を育むまち
4. 安心～みんなの笑顔が輝くまち
5. 安全～潤いと安らぎのあるまち
6. 創出～ゆとりを実感できるまち

の6つがあります。

「いつまでも住み続けたいと思つまち」を目指してまちづくりを進めて

いくために、今後もさらに皆さんのご意見や声をお聞かせいただきたいと思ひます。

5月に開催した「土岐市男女共同参画懇話会」の中で、「以前は、周りの人々とのきずなが強かったが、最近是个を大切にしている人が増えた。個が大切だと思っている人も参画（男女共同参画）を通して、人とのきずなやつながりが大切だと気付く人もいるはずだから、これからも男女共同参画を広げ続けてほしい」と提言がありました。

総合計画の基本目標の最初には、「参画」～自立と協働のまち～が掲げられています。まちづくりは、市民の皆さんと行政（市）が一体となって進めていくことが大切です。これからの土岐市を、皆さんと、男性も女性も一緒になってつくっていききたいと願っています。



しょうぼう119



住宅火災から大切な生命を守るために、住宅用火災警報器を設置してください

消防本部・☎530123

地震体験

近年起こることが予想されている『東海大震災』、皆さんは防災用品や地震対策の準備をしていますか？ニュースなどで大きな地震が起こる可能性があるとしても実感がわかなかつたり、どの程度の地震が起こるのかまったく想像がつかないという方もいるのではないでしょうか？

県では、地震による揺れの恐ろしさを体験して、防災意識のさらなる向上を図ることを目的に、地震体験車を導入しています。この地震体験車は、過去に発生した地震の再現（濃尾地震（1891年10月28日、マグニチュード（以下「M」）8.0）、関東地震（1923年9月1日、M7.9）、兵庫県南部地震（1995年1月17日、M7.2）、新潟県中越地震（2004年10月23日、M6.8））や、可能性が予想される東海地震などを想定した、震度7まで

の揺れを体験することができます。市内でも各町の防災訓練や学校などで、地震体験車による大地震の揺れを体験していただいています。体験した方は『想像以上に揺れが大きく、地震に対する怖さを改めて実感した』と感想を話しています。皆さんもぜひ地震体験車を利用し、いつ起こるか分からない地震に対する防災意識を高めていただきたいと思います。

地震体験車に関するお問い合わせは、消防本部までどうぞ。



▲地震体験をする泉西小の児童